

会議録

附属機関又は 会議体の名称		第36回 豊島区景観審議会デザイン検討部会
事務局（担当課）		都市整備部 都市計画課
開催日時		令和6年3月28日（木） 15時15分～17時00分
開催場所		豊島区役所本庁舎8階804会議室
会議次第		1. 開会 2. 議事 議事1：景観事前協議案件① 議事2：景観事前協議案件② 議事3：景観事前協議案件③ 3. 閉会
公開の 可否	会議	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部非公開 非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会議録	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部非公開 非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委員	志村 秀明（芝浦工業大学建築学部建築学科教授） 後藤 春彦（早稲田大学副総長 大学院創造理工学研究科教授） 篠沢 健太（工学院大学建築学部まちづくり学科教授） 沼田 麻美子（土地総合研究所研究員、東京工業大学環境・社会理工学院特別研究員） 加藤 幸枝（有限会社クリマ代表取締役）
	事務局	都市計画課 届出・許認可グループ
傍聴者		なし

審議経過

1. 開会

(事務局)

- ・皆様、先ほどはお忙しい中、第19回豊島区景観審議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。定刻となりましたので、第36回豊島区景観審議会デザイン検討部会を開会いたします。それでは、以降の進行は志村部会長にお願いいたします。

(志村部会長)

- ・それでは、議事日程に従って進行してまいります。まず、委員の出欠について、事務局よりご報告ください。

(事務局)

- ・委員の出欠ですが、本日は村木委員がご欠席でございます。豊島区景観条例施行規則第35条第2項に規定しております定足数を満たしておりますことをご報告いたします。

(志村部会長)

- ・本日の議事及び資料について、事務局よりご案内ください。

(事務局)

- ・本日の議事は、「議事1：景観事前協議案件について①、議事2：景観事前協議案件について②、議事3：景観事前協議案件について③」となります。
- ・次に、資料についてご説明をいたします。議事1「景観事前協議案件について①」の資料といたしまして、「資料第1号、参考資料第1号、景観事前協議」、こちらは資料と参考資料を1つにおまとめしております。議事2「景観事前協議案件について②」の資料といたしまして、「資料第1号と参考資料第1号、景観事前協議」、こちらも資料と参考資料を1つにおまとめしております。議事3「景観事前協議案件について③」の資料といたしまして、「資料第1号、参考資料第1号、景観事前協議」、こちらも資料と参考資料を1つにおまとめしております。以上となります。不足等ありましたらお知らせいただければと思います。

(志村部会長)

- ・次に、傍聴希望について事務局よりお願いします。

(事務局)

- ・本日、傍聴希望の方は来ておりません。

2. 議事

議事1：景観事前協議案件①について

(志村部会長)

- ・それでは、議事1に入ります。説明者にお入りいただきます。事務局は入室の対応をお願いします。

(事業者入室)

(事務局)

- ・事業者の方々の説明の前に、事務局より1点ご連絡がございます。本件は、昨年開催しました本部会にて、色彩基準の適用除外についてご意見をいただきました。当地区の色彩基準におきましては、強調色は外壁各面の5分の1、またアクセント色につきましては20分の1に収めなければならないとされております。
- ・本件は、立教小学校の既存レンガの色に合わせたレンガを使用する計画であり、色彩基準を超えてしまうため、豊島区の景観計画で定めます色彩基準の適用除外を認めていただいたところでございます。それでは、ご審議のほどをよろしくお願いいたします。

(志村部会長)

- ・では、説明をお願いいたします。

(事業者)

<資料を説明>

(志村部会長)

- ・ありがとうございます。案件の説明がありましたので、ご意見などをお願いいたします。いかがでしょうか。後藤委員、お願いします。

(委員)

- ・仮設校舎か何かを造って、建て替えを進めていくのでしょうか。ローリングはどのようになっていますか。

(事業者)

- ・はい、既に契約をさせていただいておりますが、豊島区が所有されている椎名町駅の近くの旧真和中学校を2027年の3月までお借りし、その間に建て替え工事を計画しています。

(委員)

- ・分かりました。

(志村部会長)

- ・ほかにいかがでしょうか。では、加藤委員お願いします。

(委員)

- ・ご説明ありがとうございました。仕上げと色彩について、2点確認させてください。1点目ですが、アルミ製建具はフッ素焼付塗装とありますが、1階とカーテンウォールは色が違いますか。

(事業者)

- ・基本的には全て同じ色を考えております。レンガが少し深みのある色になりますので、レンガに合うようなサッシの色を考えています。

(委員)

- ・防球ネットの色は決まっていますか。

(事業者)

- ・防球ネットの色はまだ決まっていません。

(委員)

- ・製品から選ぶことになると思いますが、小学校ですと一般的に緑が使われておりますが、黒や茶色のような暗い色のほうが、ボールが見えやすいというデータがあります。野球場に関しても、有彩色から無彩色に変わってきていますので、使い勝手も含めてご検討いただければと思います。

(事業者)

- ・ありがとうございます。参考にさせていただきます。

(委員)

- ・2点目についてですが、建て替え時期が1年以上であり、6年生の生徒さんは校舎の完成を見られないまま卒業されます。自分の通っている小学校の建て替えを体験できることはとても貴重な機会だと思います。そのため、例えばランドスケ

ープに関して、植え替える際に生徒が参加することや工事現場見学会などを行い、何か関りを持つことで記憶に残るような取り組みをしていただければと思います。以上です。

(事業者)

- ・ありがとうございます。参考にさせていただきます。

(志村部会長)

- ・ほかにいかがでしょうか。

(委員)

- ・生徒たちは中学校に進学しても同じ仲間ですから、新築になった校舎を少し使わせてもらうなどの体験により、記憶が継承されると良いと思います。

(事業者)

- ・本校は屋内プールがありますが、隣接する中学校の室内プールを使うことになっております。工事中もそのプールは使う予定ですので、その際に工事現場を見ていただくことは考えられます。
- ・また、卒業生が今回の建て替えを非常に大きな一大イベントだと捉えており、参画したいという方が多くいらっしゃいます。解体工事、新築工事を定点撮影できないかというようなお声もいただいておりますので、そうした取り組みにより現場を見ていただく機会を作ることはできると考えております。

(委員)

- ・レーモンドの講堂は保存されますか。

(事業者)

- ・はい。

(委員)

- ・現在の校舎と講堂は、どのような関係になっていますか。引っ付いていますか。離れていますか。

(事業者)

- ・現状は既存の東棟と校舎棟という形で、その間に階段室棟があり、全てが別構造で計画されています。構造的に縁が切れているため、東棟だけ残し、階段室棟と校舎棟が解体できるという状況です。

(委員)

- ・東棟の南側ファサードは、元々無いということですね。

(事業者)

- ・ はい、無いです。東棟は既存棟に接続されているため、離すと穴が空いてしまいます。解体工事中はその穴を塞ぎ、中に雨水等が侵入しない措置をした上で新築工事行う計画です。現在も 1 階、2 階、3 階、4 階で、屋内でつながっています。

(委員)

- ・ つながっているのですね。

(事業者)

- ・ はい。

(委員)

- ・ 普通教室棟ができる前はどうかだったのでしょうか。

(事業者)

- ・ できる前とはどのようなことでしょうか。

(委員)

- ・ 東棟と普通教室棟は同じ時期に竣工してないですね。

(事業者)

- ・ そうですね。全体で 4 期に分けておりました。普通教室棟も 2 期に分けており、普通教室棟、特別教室棟、普通教室棟、東棟の順に竣工したと聞いております。

(委員)

- ・ 東棟が最後ですか。

(事業者)

- ・ はい、最後です。

(委員)

- ・ では、レーモンドの講堂は普通教室棟にぶつけたということですか。

(事業者)

- ・ はい。全てレーモンド事務所が設計しており、東棟だけ少し特徴的にデザインされています。

(委員)

- ・ 分かりました。ありがとうございます。

(志村部会長)

- ・ ほかにいかがでしょうか。篠沢委員、お願いします。

(委員)

- ・ 正門周辺についてですが、15 ページのパスにジンダイザクラが 2 本あります。このパスですと、入り口の奥には何も植えられていませんが、植栽図ではサル

スベリが植えられています。これは、どちらが正しいのでしょうか。

(事業者)

- ・中央のストリートに対して樹木が連続していくことを計画しておりますので、サルスベリの記載がある植栽図が正しいです。

(委員)

- ・学校さんのほうで何かこだわりがあるのでしょうか。現在はシンボルツリーと中央に溜まり場があるだけで、比較的シンプルな配置だと思いますが。今回の計画では何かこだわりがあるのでしょうか。

(事業者)

- ・先生もご存じだと思いますが、緑化基準がございます。

(委員)

- ・本数の基準ですね。

(事業者)

- ・はい。

(委員)

- ・分かりました。シンボルツリーと入り口にサクラがあり、加えて4つ並んでいますが、本数的にどうでしょうか。

(事業者)

- ・はい、その辺りはまだ協議が必要なところです。意図としては、4つの季節のレイヤーをつくるということがあります。春夏秋冬の順番で奥まで導くよう計画しています。また、真ん中あたりは大きくない植栽を選んでいきます。

(委員)

- ・そうですね。一箇所に四季を詰め込み、ちょっと本数を入れすぎている感がありますが、その辺りのレイアウトはお任せします。もう一点、ヒマラヤスギはシンボルツリーとしながらも、現在ある木は切るのですか。

(事業者)

- ・はい。

(委員)

- ・工事の工程のためですか。

(事業者)

- ・はい、工事のプロセスのためです。現状のシンボルツリーにかぶってしまうという状況です。

(委員)

- ・何とか記念樹として保存できなかったのでしょうか。

(事業者)

- ・卒業生の中に、建設会社を運営されている方々がおりまして、後に使えるよう実費で行っていただきました。

(委員)

- ・材として加工してくださったんですね。

(事業者)

- ・はい。

(委員)

- ・それはとても良いことだと思います。また、道沿いにヒトツバタゴを並べて植えられています、何かこだわりがあるのでしょうか。

(事業者)

- ・これについてもご存じだと思いますが、昭和の時代に埋めてあった、いわゆるナンジャモンジャの木というものです。先ほど季節感の話をさせていただきましたが、春と夏の間はヒトツバタゴがつかないでくれる状況ですので、これにより1年通して彩りのある景色をつくりたいと考えております。

(委員)

- ・ここで、この範囲内でつくりたいということですね。

(事業者)

- ・はい、そうですね。やはり通り側に顔をつくるということは重要だと考えます。

(委員)

- ・ありがとうございます。景観としては良いことだとは思いますが。

(事業者)

- ・はい。ありがとうございます。

(委員)

- ・また、走路についてです。校庭周りの走路は校舎の2階まで上がれるようになっており、校舎の下には中に入れるような空間があるように見えます。外周、植栽と走路の高低差は何かで埋められるのでしょうか。それとも中に入れる空間として残るのでしょうか。

(事業者)

- ・この隙間でしょうか。

(委員)

- ・はい、その隙間です。

(事業者)

- ・できるだけグラウンドで子供たちが遊べるようするために、走路については頭が打つぐらいの高さから下まで伸ばし、隙間は遊び場として使用できるようにしております。なので、走路は途中から2階に接続していくようなブリッジ状に計画しております。

(委員)

- ・分かりました。頭を打ってしまうような高さのところまでは埋めるということですね。

(事業者)

- ・そこは基礎で埋め、途中、高さ1200ぐらいからはスラブにしています。

(委員)

- ・土ではないのですか。

(事業者)

- ・土ではないです。

(委員)

- ・分かりました。また、パースの右下の一般倉庫の付近に、土の山のような斜面があります。この辺りは非常に良いと思います。ブリッジの最後は下のグラウンドに続きますが、この山の一部が橋のようになっていますので、子供にとっては楽しい場所だと思います。裏手の木が生えてない側は校庭とつながっており、非常に良いと思います。

(事業者)

- ・ありがとうございます。

(委員)

- ・また、レインガーデンについてですが、どのような意図でこの場所に決まっているのでしょうか。

(事業者)

- ・この辺りは、地形的に少し下がっているところでして、元々も緑地として使われておりました。地形的に下がっている点と、少し広がりがあるため、自然に触れ合える機会をつくり、緑地の中を散策して上がって来られるような意図で、この辺りに計画しております。

(委員)

- ・これは、校庭の排水がレインガーデンに流れてくるのですか。

(事業者)

- ・校庭の排水全てではなく、この辺りの排水が流れてきます。

(委員)

- ・ここに降った水がこうして流れているということを、子供たちが分かると良いですね。

(事業者)

- ・はい。

(委員)

- ・また、レインガーデンの左上にコナラがあります。水辺に近い植栽としてはクヌギのほうが良いかなと思いますが、お任せいたします。以上です。

(事業者)

- ・はい、ありがとうございます。覚えておきます。

(志村部会長)

- ・ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。では、私からも質問させていただきます。前回の部会では、立教通りの正門の話が出ました。今回、正門が少しセットバックして下がっていますが、現状に比べると広がっているのでしょうか。

(事業者)

- ・そうですね。道路空間は広がります。

(志村部会長)

- ・分かりました。良くなると思います。また、現状としては、図面左側にあるように、生け垣上に緑化がされています。これは立教大学さんの緑の連続を意識されていると思いますが、今回の計画ではルーバーに変わっています。後ろ側に緑地はありますが、緑の連続性という点ではどのようになるのでしょうか。

(事業者)

- ・ルーバーの奥に生け垣を設けており、正面は抜けをつくっております。ですので、緑が見えるよう計画しております。

(志村部会長)

- ・分かりました。

(事業者)

- ・大学の外柵意匠がルーバーになっております。ピッチでレンガを貼った鉄柱のよ
うなものがあり、その間はルーバーになっております。

(志村部会長)

- ・分かりました。ありがとうございます。

(委員)

- ・植栽表に高さの記載がないので少し分かりづらいですが、ルーバーの校舎内にア
セビを植えているところがありましたよね。

(事業者)

- ・はい、記載しております。

(委員)

- ・0.6ということですね。

(事業者)

- ・はい。

(委員)

- ・ルーバーの奥に60センチのアセビが植えられるということですね。

(事業者)

- ・高木のページに記載しておりまして、立教通り沿いのルーバーの奥には1.8メ
ートルの生け垣があります。

(委員)

- ・高さ1.8メートルですか。

(事業者)

- ・はい。正面の抜けるところは低木があります。

(委員)

- ・トキワマンサクが並んでいますね。

(事業者)

- ・はい。校舎があるあたりに並んでおります。

(委員)

- ・ベニバナではないのですね。

(事業者)

- ・ベニバナではないです。シロバナです。

(委員)

- ・それは周辺と合わせたのですか。

(事業者)

- ・いろいろな考え方ができると思っております。今回、武蔵野も学校の歴史を継承するものだと思っております。武蔵野の植物と呼ばれているものの中から生け垣に使えるものだと、トキワマンサク、シロバナになります。

(委員)

- ・両方の考え方がありますね。立教さんとしての列の並びもありますし、子供たちはわざわざ休み時間に正門まで行かなくても、武蔵野を体験することができます。いろいろと検討していただければと思います。

(事業者)

- ・はい。ありがとうございます。

(志村部会長)

- ・委員の皆様よろしいでしょうか。では、ご意見がおおむね出されたと思いますので、これらを踏まえて今後の検討を進めていただければと思います。よろしくお願いいたします。

(事業者)

- ・はい、承知いたしました。

(志村部会長)

- ・それでは、審議1についての審議を終了します。ここで説明者の方にはご退室いただきます。

(事業者退室)

議事2：景観事前協議案件②について

(志村部会長)

- ・それでは、議事2に入ります。説明者にお入りいただきます。事務局は入室の対応をお願いいたします。

(事業者入室)

(志村部会長)

- ・それでは、事業者の方々、説明をお願いいたします。

(事業者)

<資料を説明>

(志村部会長)

- ・ありがとうございました。案件の説明がありましたので、委員の皆様、ご意見を
お願いいたします。

(委員)

- ・周りの建物は大体10階建てぐらいでしょうか。

(事業者)

- ・はい、そうです。

(委員)

- ・今回は17階ですね。

(事業者)

- ・はい、そうです。

(委員)

- ・高さが一つ飛び抜けていますね。

(事業者)

- ・はい。駅の反対側は高い建物が多いですが、こちら側は少し低い建物が集まっ
ています。

(委員)

- ・賃貸ですか。

(事業者)

- ・はい。そうです。

(委員)

- ・マリオンが強調されていますが、地上部分からどのように見えるかパースだと少
し判断が難しいです。どうでしょうか。

(事業者)

- ・900程度の太い幅を持たせ、なるべく強調したいと考えています。

(委員)

- ・ベランダのスラブも白、黒、白、黒となっていますね。

(事業者)

- ・はい。そうです。そこも全部を白にするのではなく、少し間引いたりしながら、特徴を持たせたいと考えています。

(委員)

- ・分かりました。

(志村部会長)

- ・加藤委員、お願いします。

(委員)

- ・ご説明ありがとうございました。色について3点ほど確認させてください。バルコニーと外階段の上げ裏の色はどのような想定をされていますか。

(事業者)

- ・外階段の床の鼻先ですか。

(委員)

- ・軒天井です。

(事業者)

- ・軒天井は白っぽい色で、暗くならないようにしています。鼻先の辺りは外壁と同じようなグレーで計画しています。

(委員)

- ・バルコニーはどうですか。

(事業者)

- ・バルコニーも同様に、上げ裏は明るい白っぽい色にし、暗くならないようにしたいと考えています。

(委員)

- ・暗くしないほうが良いと思いつつ、外階段のところは駅方向から見えるところではあるので、本来であればルーバーなどで隠したいところですね。

(事業者)

- ・はい。

(委員)

- ・ここは非常用ですので、軒裏が白くなるよりはスラブと一体的に見え、夜間は色温度の低めの非常照明が見えるような意匠的工夫をしていただけると、アクセントになって良いと思いました。

(事業者)

- ・はい。分かりました。

(委員)

- ・外壁の第二構面（※サッシ面の壁）が軒裏に回るぐらい、穏やかな色のほうが良いかと思います。見上げた際に白い天井が見えてしまうと、スラブの色を工夫されているところの効果が薄れてしまうかと思うので、その辺りは検討していただければと思います。

(事業者)

- ・はい。分かりました。

(委員)

- ・2点目は外階段の照明についてです。色温度の高いものが付かないようにしていただければと思います。

(事業者)

- ・はい、分かりました。

(委員)

- ・また、パーキングも工夫をしていただきたいと思います。これは材料が決まってしまうため、できることはあまり無いと思いますが、南東側が単色の白い面になっており、住戸側へのまぶしさの影響が懸念されるかと思っています。白い大きな面がバルコニー側から見えてくる場合は、日が当たった際に白くまぶしく見えてしまうおそれがあります。リブ付のものだと思いますが、それでも明度8.5ぐらいだと夏場は非常に目立つと思います。
- ・例えば、この配色を反転させることや、グレー系をベースにし、白がアクセントになるようなことも考えられるかと思っています。検証をよくしていただければと思います。

(事業者)

- ・はい。分かりました。

(委員)

- ・この1階に入るコンビニのブランドは決まっているのでしょうか。

(事業者)

- ・配色で見えてはいますが、セブンイレブンが入る予定です。

(委員)

- ・はす向かいにもありますよね。

(事業者)

- ・そちらが移転する予定です。

(委員)

- ・はい。分かりました。以上です。ありがとうございます。

(志村部会長)

- ・ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。沼田委員、お願いします。

(委員)

- ・パーキングについてです。規定の台数を収めるためにはこの高さが必要だと思いますが、駅からも近いので数年後には駐車場が余るのではないかと思います。その際にパーキングを変更することは難しいと思います。空いたままの状態での高さが維持されるのではなく、数年後のことを考え、何かに変えることや、少し高さを抑えることはできないでしょうか。

(事業者)

- ・そうですね。タワーパーキングを設置すると、変更はできないです。

(委員)

- ・将来的に空いたままの状態になってしまうと思います。

(事業者)

- ・賃貸マンションですので、例えば空き状況が続くようであれば一般の方も使用できるよう、事業的な方針を変えることになると思います。タワーパーキングですと変更が簡単にできないような形になってしまいます。

(委員)

- ・高さはこのままということですね。

(事業者)

- ・そうです。通常のセダンタイプが減っていますので、ハイルーフを全て設置するとしても高さは高くなってきます。ですので、大体25メートル程度の高さになってしまいます。

(委員)

- ・タワーパーキングが目立つ形で建てられることが気になるので、色で目立たないようにするなど、何か工夫が必要だと思います。

(事業者)

- ・はい、分かりました。

(志村部会長)

- ・ほかにいかがでしょうか。篠沢委員、お願いします。

(委員)

- ・ 1 ページの視点 A、B に都道の街路樹が写っていますね。

(事業者)

- ・ はい。

(委員)

- ・ この街路樹は何でしょうか。植栽の際に意識されていますか。

(事業者)

- ・ 今のところ意識はしていません。

(委員)

- ・ プラタナスですね。このぐらい剪定されてしまうと状態は良くないですが…。また、パースには三角形の針葉樹のようなものが写っており、6 ページではエゴノキやシマトネリコなどが記載されていますが、植栽表が正しいのでしょうか。

(事業者)

- ・ はい、そうです。

(委員)

- ・ 6 ページの緑に塗った箇所に中木カナメモチ 1. 5 と記載がありますが、これはどこに植えるのでしょうか。植栽スペースの道路側に植えるのか、建物側に植えるのかによって、印象が変わってきます。

(事業者)

- ・ 道路側です。

(委員)

- ・ 1. 5 のカナメモチの裏の部分には何かあるのですか。

(事業者)

- ・ そうですね。

(委員)

- ・ 地被を植えるのですか。

(事業者)

- ・ はい、地被です。あとは設備のマスなどが出てくると思います。

(事業者)

- ・ はい。それを建物側のほうに計画しています。

(委員)

- ・ これは緑に塗った箇所が、面積的には緑になるという理解でよろしいでしょうか。

(事業者)

- ・はい、そうです。

(委員)

- ・前にカナメモチがあり、「裏」に何か植えられています。私たちはまち側から見るので、取り合いなどを考慮いただければと思います。また、シマトネリコが植栽計画にある際に、みなさんにお聞きしているのですが、これは「こだわりのある」シマトネリコですか。

(事業者)

- ・こだわりは特にはないです。

(委員)

- ・例えば、某区ではイタリアンレストランの向かい側に、中の明るさを見せるため特にこだわってシマトネリコを植えているところもあり、それは意向を理解できます。ここではシマトネリコとマホニアコンフーサはセットで植えられていますが、比較的どこでもある植え方とも言えます。大塚駅側でも良いので何か「まちの顔として、この場にふさわしい」というお考えをもって植栽していただけるとうれしいなと感想を持ちました。

(事業者)

- ・はい、ありがとうございます。

(志村部会長)

- ・ほかにいかがでしょうか。先ほどのお話と少し重なるところもありますが、やはり大塚駅からの見え方が気になります。また、北西側も気になっております。5ページの配置図では、駐輪場が地上にもあり、シェアサイクルと書かれています。

(事業者)

- ・はい。

(志村部会長)

- ・このシェアサイクルは必要なのでしょうか。

(事業者)

- ・事業主さんの意向があり、シェアサイクルを設置する予定です。

(志村部会長)

- ・意向ですか。

(事業者)

- ・はい。

(志村部会長)

- ・公的なものでしょうか。

(事業者)

- ・公的なものではないです。

(志村部会長)

- ・区の意向ではないですか。

(事業者)

- ・区の意向でもないです。

(志村部会長)

- ・パースではシンボルツリーの大きな木がありますが、実際はどうでしょうか。シェアサイクルは事業主さんの意向もあるでしょうが、台数などを調整し、この場所の緑地を豊かにすると、駅からの見え方が大きく変わってくると思います。検討していただけたらと思います。
- ・また、非常階段についてです。先ほど加藤委員からもお話がありましたが、外階段のところは、本来であればルーバーか何かを付けていただきたいと思います。

(事業者)

- ・はい。分かりました。

(志村部会長)

- ・よろしいでしょうか。では、委員の皆様からご意見がおおむね出されたと思いますので、これらを踏まえて今後の検討を進めてください。それでは、議事2についての審議を終了します。ここで説明者の方にはご退室いただきます。

(事業者)

- ・ありがとうございました。

(事業者退室)

議事3：景観事前協議案件③について

(志村部会長)

- ・それでは、議事3に入ります。説明者にお入りいただきます。事務局は入室の対応をお願いします。

(事業者入室)

(志村部会長)

- ・では、説明をお願いいたします。

(事業者)

<資料を説明>

(志村部会長)

- ・案件の説明がありました。委員の皆様、ご意見をお願いいたします。

(委員)

- ・ご説明ありがとうございました。サインの設置についてですが、なぜ赤色なのでしょう。

(事業者)

- ・このビルのロゴイメージを赤色で考えております。代表的な色を使うということで、外壁のサインにも赤色を出していく計画です。ですので、パンフレットなどでも赤色の文字で建物名を掲載する予定です。

(委員)

- ・景観としては、高層部はスカイラインや群像形を形成しているため、建物の主張としてビル名称を入れている建物は、昨今あまり見なくなっています。もちろんシルエットや意匠というのは、特徴があって良いとは思いますが、色や名称で特徴づけている建物は少なくなってきました。入れるとしても、シルエットや夜間照明の演出であれば、非常に良いと思います。
 - ・パースで見るとポイントになっていますが、歩行者や車に乗っている人は、上をあまり見ていないです。ですので、足元や歩行者空間で特徴を付けたり、エントランス周りに華やかな色を入れると、演出として望ましいと思います。高層部はまちの景色の一員であるということを、再度ご検証いただければと思います。
- 以上です。

(志村部会長)

- ・どうでしょうか。

(事業者)

- ・建物の設計をするにあたり、そのような提案もさせていただいたのですが、建築

主の方から、ロゴの赤色を出したいというご要望がありました。東京都さんともそのような話で協議をさせていただきました。当初は全部赤色にするというお話があったのですが、外壁とのバランスもありますので、ロゴの部分だけ赤色で計画しました。東京都さんが中央大学のロゴの例を出されていましたが、中央大学はCという赤色のロゴを入れて、中央大学という文字は黒色にしています。そのような形であれば認めていただけるというお話をいただきました。

(委員)

- ・近年、市民の方が景観という言葉を使うようになり、この10年、15年で景観に対する意識が社会で大きく変わってきていると思います。池袋西口においても、再開発事業でグローバルリング周辺を含めて大きく変わっていきます。そのような中で、個がやりたいことを主張するということが本当に未来の池袋にとって望ましいのかということを、企業の方にもぜひ考えていただきたいと思います。

(志村部会長)

- ・篠沢委員、お願いします。

(委員)

- ・私は、クライアントの方がまちや景観への貢献をどのように考えていらっしゃるかは、非常に重要なことだと思っています。自社が名前を掲げている建物だからこそ、足元にも責任を持っていただけるのでは…？と思います。現段階ではサインはAAとなっており、どのようになるか分かりませんが、形や色調のコントロールをしていただき、まちに対して責任を持っていただけることの意味表明であればこのような形でも良いのかなと思いました。
- ・まちの景観、色彩のルールは少し違う個人の意見なのですが、交差点広場に配慮をしていただいたことや、これまでいろいろとお話をさせていただく中で、まちや景観に対して非常に誠実に対応してくださっていると感じます。今後もまちに対して、「看板を背負っていただく」という意味では看板の色彩がCIを反映することもありえるのかなと思いました。
- ・また、交差点広場にもにぎわいを作るために、机と椅子をこのように出していたことは、非常に良いと思っています。この建物の1階部分は飲食が入るのでしょうか、それともオフィスでしょうか。

(事業者)

- ・物販と飲食です。

(委員)

- ・誰でも利用可能という考え方はとても良いですが、いわゆる街の広場的なものを想像します。飲食店さんがしっかりとまちに出した椅子や机に対しても責任を持っていただく方が良いかとも思います。区さんの考え方とも少し違って来るかと思いますが、何か起きた際に補修をする、あるいは台風などの際に片づける場合、机や椅子にどなたかが責任を持っていたほうが良いのではないのでしょうか。無料で座るスペースがあって良いと思いますが、この建物の裏や交通広場から南側に入った先にも、店先に無料で座るスペースをつくっていただきました。この店前のスペースに関しては場所的にも「誰もが」だけでなく、名前のわかる誰かがきちんとせきにんを持った（場合によっては営業的なスペースでも）よいのかなと感想を持ちました。

（事業者）

- ・ありがとうございます。池袋は東側がいろいろと進んできた中で、西側は雑然としております。そのため、西口を変えていこうというオーナー様方の意思があり、このビル計画が始まっています。駅前の開発も立ち上げておりますが、地権者も多く、全て終わるのが2043年と、非常に長い時間を要するということは皆さんもご承知だと思います。ビルは2年後に完成する予定ですが、西口のシンボルとしてこの場所に大きなビルができ、そこからまちが変わっていく機運を高めようという熱い想いを持たれています。ですので、ぜひサインを掲げさせていただき、周りの方に喜んでいただけるシンボルを目指していきたいと考えております。よろしくお願いします。

（志村部会長）

- ・ほかにいかがでしょうか。

（委員）

- ・よろしいでしょうか。足元周りは非常に良くなっていると思いますが、ガラスの面積を減少させ、長大な壁面を小さくすることで圧迫感を軽減するという東京都との協議についてですが、クラウンを廃したことにより、逆に失っているものもある気がします。当初案は、空に伸びていくようなものを計画していましたが、一世代前の高層ビルのように感じられます。東京都はこれで良いというお話なののでしょうか。設計者としては、十分に理解ができているのでしょうか。

（事業）

- ・おっしゃる考え方もあると思っています。ここを下げたことにより、伸びやかさが失われないよう、北側の柱をデザインしました。

(委員)

- ・そうですね。そこは非常に頑張っていますね。

(事業者)

- ・昔のアメリカにあるようなしっかりとしたビルの中に、このガラスがはめ込まれている形の表現でも、実現できていると思います。非常に堅実性があり、最近では珍しいかもしれませんが、安定感のあるものを目指したというところでございます。

(委員)

- ・ご意見伺えて良かったです。

(事業者)

- ・おっしゃるご意見も重々承知です。ありがとうございます。

(志村部会長)

- ・ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。では、私からも1点確認です。先ほど高層部のサインのお話がありましたが、低層部はこのままでしょうか。低層部にサインは付かないということよろしいでしょうか。

(事業者)

- ・低層部の外壁には付けない予定です。

(志村部会長)

- ・ガラスのところには付けないということですね。

(事業者)

- ・はい、下の人が通るあたりには付きます。

(志村部会長)

- ・そこには入ってくるということですね。

(事業者)

- ・はい。

(志村部会長)

- ・分かりました。ありがとうございます。では、委員の皆様からご意見がおおむね出されたと思いますので、これらを踏まえて、今後の検討を進めていただければと思います。議事3についての審議を終了します。ここで説明者の方にはご退室いただきます。

(事業者)

- ・ありがとうございました。

(事業 者 退 室)

3. 閉会

(志村部会長)

- ・ それでは、議事は以上となりますが、事務局から連絡事項がありましたらお願いします。

(事務局)

- ・ 本日は長時間にわたり、審議会および部会にてご審議いただきまして、誠にありがとうございました。また、2年任期の中、デザイン検討部会に就任いただくとともに、大変多くのご意見、ご指導をいただきまして、深く感謝申し上げます。来年度も引き続き、現在の6名の先生方に委員をお務めいただけることになりました。今後とも何とぞよろしくお願いいたします。
- ・ 今後の予定といたしまして、次回のデザイン検討部会は6月、7月頃に開催をさせていただく予定です。詳細につきましては、改めてご連絡をさせていただきます。事務局からは以上になります。

(志村部会長)

- ・ それでは、第36回豊島区景観審議会デザイン検討部会を終わります。皆様、お忙しい中ありがとうございました。